

郷土の誇り継承委員会事業計画

委員長	井部	真介
副委員長	山崎	貴行
副委員長	笠尾	崇
運営幹事	藤井	映規
会計幹事	半田	誠治

【基本方針】

本年、我々の故郷は高田開府400年を迎えます。これは、先人たちの故郷を想う気持ちがこれまでの歴史を紡ぎ、今の上越を作り上げてきた賜物です。しかし近年、若い世代を中心に市民の故郷を誇りに思う気持ちが薄くなっています。これはまちへの興味や関心が薄れ、まちの魅力に気づかない事に起因します。歴史上の節目を迎える今こそ、市民がまちの魅力に気づき、まちを誇る気持ちを取り戻し次世代へと繋げていく絶好の機会です。

当委員会は、まず3月担当例会を誇りの重要性を喚起する事を目的とし、地域の人々と共に地域内外からの視点で改めて上越の魅力とその可能性に触れ郷土への誇りや愛着について想いを巡らせる機会として開催します。そして、そこから学び得た情報や過去からの様々な経験を活かし、行政が主導する高田開府400年祭の関連事業に参画し、地域との協働によってその一翼を担い地域の活性化に貢献します。次に、本年度で7年目を迎える「オクトーバーフェストINはすまつり」では例年の「食と音楽」のテーマに加えて、まちへの誇りを喚起する場として、外堀に咲き誇るはすの花や高田城三重櫓といった地域固有の歴史・文化に目を向ける環境や演出を整えることで高田開府400年を迎える年であることを十分に意識した独自色を発し、上越JCならではの事業展開を行ないます。最後に、400年に一度しかない貴重な機会が一過性のイベントとならぬように、我々が主導する中で世代を超えて地域の魅力への意識や郷土への誇りを共有することで、次世代やその先へと誇りを持続的に維持できる、継承していく仕組みづくりを目指す事業を行ないます。

まちへの誇りが継承されていくということは、市民が世代を超えてまちの魅力を理解しまちづくりへの意識を高く持ち続けることに繋がります。それは、故郷上越の未来が地域固有の個性を活かした姿へと昇華し発展し続けていくことに繋がると確信します。

【委員会職務分掌（事業内容）】

- 1、誇りの重要性喚起事業の開催（3月担当例会）
- 2、まちへの誇り喚起事業の開催（オクトーバーフェストINはすまつり）

- 3、まちへの誇り継承事業の開催
- 4、米沢J C、上田J Cとの交流事業の開催
- 5、高田開府400年祭への参画
- 6、会員拡大の推進
- 7、50周年記念事業への協力と実施